

「どうすれば思いを形にできるのだろう」「復興に向けて、何かしたい」「こんな地域をつくりたい」。思いを形にするプロジェクトデザイン講座「東北の美しい未来創造塾」。今年三月、仙台市内で開かれた成果報告会で八つのプロジェクトが発表されました。その塾が今年も十月二日から始まります。震災復興や地域づくりにつながる市民活動、起業、コミュニティビジネスなどの立ち上げを支援する講座です。女性や若い方を対象に、来年一月まで全七回の連続講座を実施します。

昨年度に生まれたプロ

東北復興日記

108



エル・ソーラ仙台
管理事業課主任
山本美加さん

ナプキンを綿から作る

プロジェクトのうち、農業体験や食を通じて東松島と仙台居住者の交流を深める「学べる・食べられる大人のべご塾(熱海和美人さん)」と、布ナプキンの活用と普及を目指し、綿花栽培から布ナプ

キンの作りまで行う「布々プロジェクト(及川奈七見さん)」は、コラボ企画「人、地域とつながる丁寧な暮らし」写真として推進中。

キン作りまで行う「布々プロジェクト(及川奈七見さん)」は、コラボ企画「人、地域とつながる丁寧な暮らし」写真として推進中。

動きだしており、その他、甚大な被害のあった仙台市沿岸部を巡り人々の話を聞くバスツアーも実施されました。

いずれも東日本大震災の津波被災地域や人々に元気になってもらいたいという強く熱い思いが根底にある、被災当事者でもある女性たちの発案です。周囲の人とつながり、広がり、楽しく頼もしく活動中です!



講義、グループワーク、フィールドワーク(今年は宮城県丸森町と福島県南相馬市)、講師やアドバイザーの皆さんからのアドバイス、参加者同士で意見を出し合い影響し合うことによって、それぞれの思いが内容としても深まりどんどん磨かれカタチになっていく未来創造塾です。ぜひ、ご加を! 詳細は、エル・ソーラ仙台のホームページへ。

この連載は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが協力して復興に取り組む「結結プロジェクト」の協力を得て、掲載しています。